

## 嬉野創生機構代表（以下、機構代表）への聞き取り

日時：2018年9月13日

場所：レンマ（旧橋立旅館）

同席：山口卓也議員、同席者Cさん

（2人は地域おこし協力隊から相談を受けている）

機構代表：（地域おこし協力隊員・AさんとBさんの） 2人の言う不正というのは、おそらく仕事の受発注の関係だと思うけども、今俺「第2期」の決算をしてるんだけど、全部（資金は）俺（本業の映像制作会社[会社名]）が出すもん。全部出して全然よくて、当たり前ですけど、今後たぶん佐賀銀行とかサガテレビとか出資を受けるとは思いますが、さすがに何億円というのはペイできないから。で、究極俺が新幹線（の駅周辺開発）に入るとかどうでもいいんですよ。今は一通（一方通行社会実験）の話をしてる。

同席者C：最後に8月18日に市職員Aと機構代表と話すというのを聞いたよ。

機構代表：（それを言ったのは）協力隊Bじゃないの7月の半ばに協力隊Bがいきなり独立するっていった話聞ってる？「（嬉野創生機構の業務を離れて）市役所員になります」と言って、その話の中で協力隊Bが「起業します」と言い出したんですよ。今の雇用契約上は難しいんじゃないかって、当時の市の判断だった。

山口卓也議員：そこまで収まっていない。危ないなって思って飛んできたんですけど。いろんな書類があって、地域おこし活動抜きにして、市役所の事務処理、内部処理、見過ごせないというか。そこについて問題があると。それをないがしろにして駅周辺まちづくりとかされると「疑惑のまち」になってしまいかねない。

私は究極的には村上市長が過ちがあったということについて認めてちゃんと謝罪をして、公表すべきだ、と。機構代表さんがどうのこうのというのじゃなくて、嬉野市の事務処理上、公務員倫理に違反するようなことだったり、疑惑を持たれるような内

容があるとすれば、絶対直さないといけない。地域おこし協力隊は正直切り離れた上で、(協力隊 A)さん含めた地域おこし協力隊員の) 2人が告発者じゃないですけど、発端でそういう膿が出てくるというのは2人にとってもよくないし。最終的には市役所が、いけなかったことはもう絶対認めるべきだと。はっきり(村上大祐)市長にも言いました。そこは自ら過ちを正す行動を取って、そこまで私は譲歩しません(公にしない)、と。

もし、市長がそれを見過ごすようであれば、それ以外の行動(マスコミへの通報など)に出ることになると思うんですけど。あくまで市の内部的なこと。その結果として、創生機構の今までの(市職員 A)との)やり取りあると思うんですけど、市役所内で調査されて、改めるべきだと思っているんですけど。僕も書類を見たときに、これは見過ごせないなって。詳しくは見てないんですけど、

機構代表 : 告発?

山口 : 告発文とかじゃないです。

機構代表 : 事務処理か。えーっと、それは言えない。言える範囲もない。段取りとかそう言ったところ?それは俺に過失は大いにありますよ。

山口 : 僕が見る限りでは、内部的な気の緩みじゃないですけど、気の緩みがあったんだろうなと僕は思いますけど。それでやっていけるといえるのか、それで今までやってきたから。ただ、それをはっきり言って、許せない。(地域おこし協力隊員の) 2人が告発するとか、これを暴露して、市役所と全く敵みみたいな形でやり合って、どっちが悪いみたいな論争になるのが一番怖いと。最終的に責任を取るのは市長だと思っているので。市長が調査をして、しかるべき嚴重注意とか、そこは市長を信じて自分で正すっていう機会を今回(与えた)。いきなり報道で、捜査機関とかが入って、もうごっちゃごっちゃになるのが(嫌だから)。

機構代表 : その通りだろうし、それは認めて、謝るところは謝るし、何かの処分、全然よくて。市役所と民間会社のやり取りの中で、「まあいいだろう」ってことは、今後これがまかり通るとまずいだろうという。詳細はわかんないですけど。

山口：先週、(担当課) 課長と話す中では、地域おこし協力隊の(待遇改善の)話で終わるなら、それでいいかと。きょう書類を見る前の話ですけど。ここだけの話だと思っていたので。たとえば、これ、村上市長が調査をされて、フラットな状態で、不適切な事務処理なのか、公務員倫理なのか、担当をしていた事務をしていた方(市職員 A)の嚴重注意なり、処罰なり、異動なり、やむを得ないのかなと。

機構代表：根本の責任の半分はたぶん俺にありますよね、たぶん。俺がこっちに不在、事務処理っていうと、たぶん金銭の授受とか、書類提出を俺がいないときに、ほんとは民間の部分まで(市職員 Aが)やっちゃっているとかだと思えますけど。

山口：よかれと思って、スムーズになって、悪意があったとかじゃなくてですよ。ただ、それが市としていいのかというと、よくない。そこは改めんと。見過ごせるようなことじゃないなって。

機構代表：もう、おっしゃる通りで。でも、(地域おこし協力隊員の)2人が全部(業務を)やりますと、能動的に言ってほしかった。すべては俺の責任かな、と。